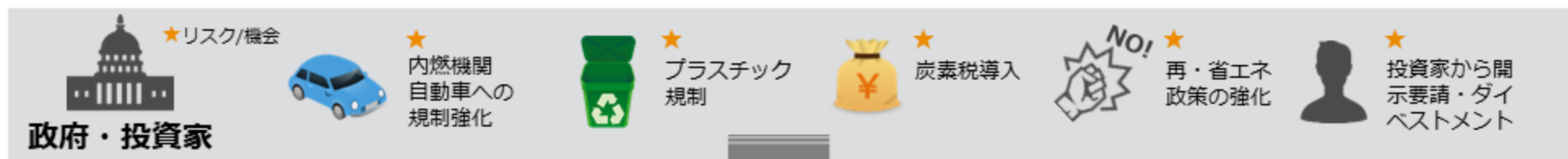


1.5°Cでは、循環型商品開発や再生材活用、供給網全体での商品別GHG※1排出量可視化が急務



### 原材料調達 (サプライヤー)

希少資源の価格高騰やリサイクル材料、再エネ等の調達戦略の最適化が必要

### 製造・サービス (AIDC業界)

脱炭素な製造工程や商品が要求され、再・省エネ化や循環型商品の開発が必要

### 利用・消費 (消費者)

脱炭素商品やエシカル消費への志向でGHG開示対応や原材料のトレサビリティ強化が必要

### 廃棄・リサイクル

リサイクル性等の高い商品が求められ、再生材の活用や回収/メンテの強化が必要

#### 原材料



★世界的な電化や炭素税導入による希少資源\*・半導体等の調達コスト増

\*コバルトやリチウム、ネオジウム等



★再生材や植物由来素材の調達によるコスト増

#### プリンタ



★サーキュラーエコノミー型商品の開発



★再・省エネ促進による工場の低炭素化  
★製造工程・GHG可視化



★環境負荷の低い商品開発 (省エネ化/軽量化/長寿命化等)



★行動のトレサビリティ需要増加 (データの多様化/膨大化)



★LCA ※3でのGHG排出量の可視化要請



★複雑化するお客さま業界のSCM ※4等への対応

★炭素税導入等による商品の輸送コスト増

#### 市場



★廃棄が容易な環境配慮設計



★リサイクル・回収事業等新ビジネスの創出 (他業種との連携等)



★水等の自然資本の有効活用

#### エネルギー



★再エネ・CCUS ※2利用等エネルギーの脱炭素化 (調達コスト増加)

#### ラベル・タグ等



★EC普及や代替技術によるラベルレス

